

# ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース／通貨αコース)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年1月24日～2024年1月17日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド(資産成長クラス)」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド(通貨αクラス)」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## 運用報告書(全体版)

資産成長コース	第19期(決算日	2023年7月18日)
	第108期(決算日	2023年2月17日)
	第109期(決算日	2023年3月17日)
通貨αコース	第110期(決算日	2023年4月17日)
	第111期(決算日	2023年5月17日)
	第112期(決算日	2023年6月19日)
	第113期(決算日	2023年7月18日)
(作成対象期間 2023年1月18日～2023年7月18日)		

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

[資産成長コース]は、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざし、[通貨αコース]は、新興国の現地通貨建債券への分散投資とオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5620>  
<5621>

資産成長コース

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
15期末(2021年7月19日)	9,371	10	1.9	11,588	2.5	—	99.0	334
16期末(2022年1月17日)	8,946	10	△ 4.4	11,492	△ 0.8	—	99.0	290
17期末(2022年7月19日)	9,455	10	5.8	11,549	0.5	—	99.0	285
18期末(2023年1月17日)	9,298	10	△ 1.6	11,845	2.6	—	99.0	258
19期末(2023年7月18日)	10,541	10	13.5	13,574	14.6	—	99.0	282

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン G B I - E Mグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

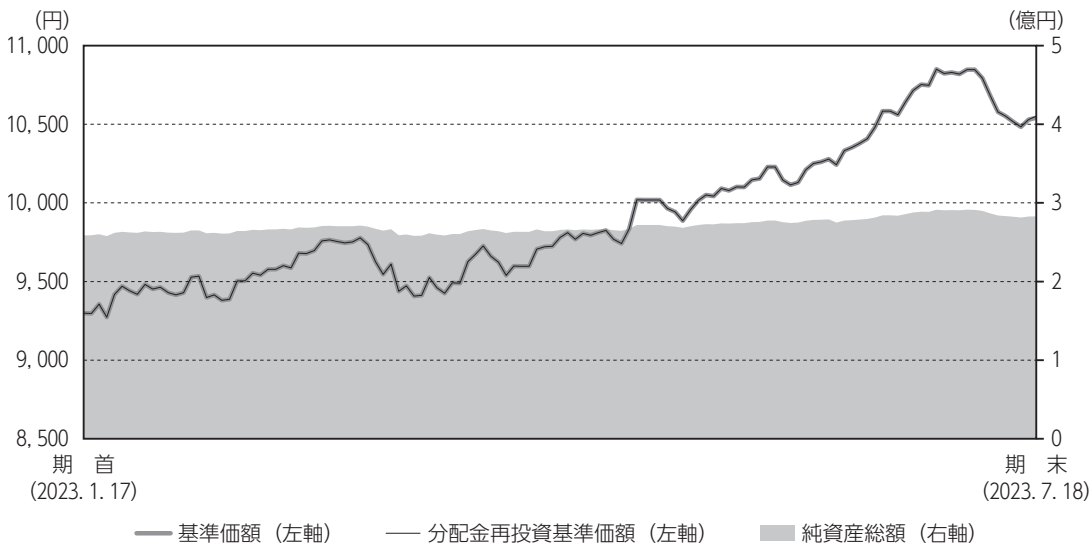
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,298円

期末：10,541円（分配金10円）

騰落率：13.5%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入や投資対象通貨が対円でおおむね上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J.P.モルガン GBI-EEM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2023年 1月17日	9,298	—	11,845	—	—	99.0
1月末	9,464	1.8	12,072	1.9	—	99.1
2月末	9,678	4.1	12,204	3.0	—	99.5
3月末	9,674	4.0	12,395	4.6	—	99.2
4月末	9,835	5.8	12,562	6.0	—	99.3
5月末	10,145	9.1	12,964	9.4	—	99.5
6月末	10,829	16.5	13,803	16.5	—	99.6
(期末) 2023年 7月18日	10,551	13.5	13,574	14.6	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023. 1. 18 ~ 2023. 7. 18）

### 新興国債券市況

新興国債券市況は、国によってまちまちな展開となりました。

#### ・ 欧州・中東・アフリカ地域

ロシアでは、欧米などからの経済制裁を受けて国債の取引が困難な状況となる中、債券価格は当作成期首より上昇しました。ポーランドでは、インフレ率が低下したことなどから、金利は低下（債券価格は上昇）しました。南アフリカでは、国内の電力不足に対する懸念が高まったことなどを背景に、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

#### ・ アジア地域

インドネシア、インド、フィリピンでは、利上げが実施されたことなどを背景に短期の金利は上昇しましたが、今後の利下げが意識されたことなどから、長期の金利は低下しました。

#### ・ 中南米地域

ブラジル、ペルーでは、インフレ率が低下したことなどから、金利は低下しました。メキシコでは、利上げが実施されたことや米国金利が上昇したことなどをを受けて、金利は上昇しました。

### 為替相場

新興国為替相場は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の金融引き締め観測から米国金利が上昇する中、日米金利差の拡大により円安が進行したことなどから、多くの新興国通貨が対円で上昇しました。

#### ・ 欧州・中東・アフリカ地域

ポーランド・ズロチ、南アフリカ・ランドは、日米金利差の拡大により円安米ドル高が進行したことなどから、対円で上昇しました。ロシア・ルーブルは、ロシアの民間軍事会社ワグネルとロシア政府の間で緊張が高まり、政治的な不安定さが警戒されたことなどから、対円で下落しました。

#### ・ アジア地域

インドネシア・ルピア、インド・ルピー、フィリピン・ペソは、日米金利差の拡大により円安米ドル高が進行したことなどから、対円で上昇しました。

#### ・ 中南米地域

ブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルは、日米金利差の拡大により円安米ドル高が進行したことや、高金利通貨への選好が強まったことなどから、対円で上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

### ■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利変動リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 1. 18 ~ 2023. 7. 18)

### ■当ファンド

当ファンドは、「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。

当作成期を通じて「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチ、南アフリカ・ランド、アジア地域ではインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルに投資を行いました。

- ・債券ポートフォリオの金利変動リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

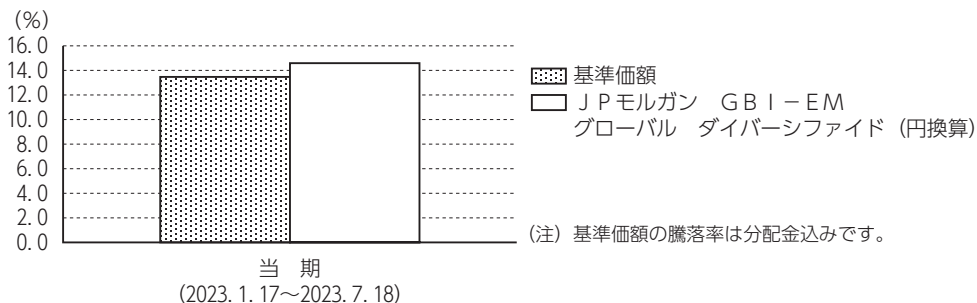
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年1月18日 ～2023年7月18日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>10</b>
対基準価額比率	（％）	0.09
当期の収益	（円）	10
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	5,553

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 365.47円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	80.01
(d) 分配準備積立金	5,117.58
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	5,563.08
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	5,553.08

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利変動リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

### ■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 1. 18～2023. 7. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	58円	0.589%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,914円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	59	0.594	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

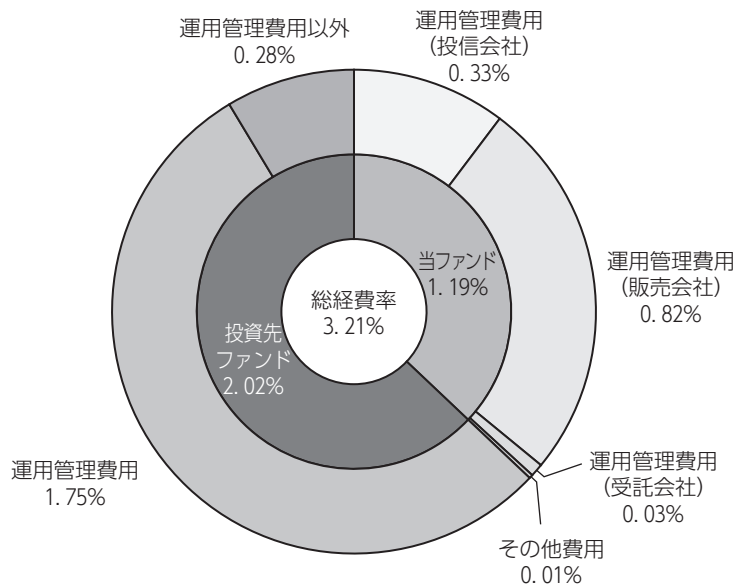
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.21%です。



総経費率（① + ② + ③）	3.21%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2023年1月18日から2023年7月18日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	167.80637	10,443	187.14877	11,600

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
(注2) 金額は受渡し代金。  
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2023年1月18日から2023年7月18日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	187.14877	11,600	61

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	4,317.16033	280,188	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	33	33	34

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年7月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	280,188	98.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	34	0.0
コール・ローン等、その他	4,651	1.6
投資信託財産総額	284,873	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年7月18日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>284,873,918円</b>
コール・ローン等	4,651,662
投資信託受益証券（評価額）	280,188,022
ダイワ・マネー・マザーファンド （評価額）	34,234
<b>(B) 負債</b>	<b>1,874,736</b>
未払収益分配金	268,476
未払信託報酬	1,595,218
その他未払費用	11,042
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>282,999,182</b>
元本	268,476,685
次期繰越損益金	14,522,497
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>268,476,685口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	10,541円

\* 期首における元本額は278,208,468円、当作成期間中における追加設定元本額は196,700円、同解約元本額は9,928,483円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,541円です。

### ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,812,257円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	2,148,165
(d) 分配準備積立金	137,395,352
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	149,355,774
(f) 分配金	268,476
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	149,087,298
(h) 受益権総口数	268,476,685口

### ■損益の状況

当期 自 2023年1月18日 至 2023年7月18日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>10,280,964円</b>
受取配当金	10,281,308
支払利息	△ 344
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>24,954,852</b>
売買益	25,333,526
売買損	△ 378,674
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>1,606,260</b>
<b>(D) 当期損益金（A + B + C）</b>	<b>33,629,556</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>19,587,392</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>748,809</b>
（配当等相当額）	（ 2,148,165）
（売買損益相当額）	（△ 1,399,356）
<b>(G) 合計（D + E + F）</b>	<b>14,790,973</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>268,476</b>
<b>次期繰越損益金（G + H）</b>	<b>14,522,497</b>
追加信託差損益金	748,809
（配当等相当額）	（ 2,148,165）
（売買損益相当額）	（△ 1,399,356）
分配準備積立金	146,939,133
繰越損益金	△ 133,165,445

（注1） 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

（注2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3） 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	10円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
84期末(2021年2月17日)	3,884	30	1.7	11,593	2.6	—	99.2	994
85期末(2021年3月17日)	3,841	30	△ 0.3	11,403	△ 1.6	—	99.0	961
86期末(2021年4月19日)	3,776	30	△ 0.9	11,425	0.2	—	99.0	929
87期末(2021年5月17日)	3,791	30	1.2	11,648	2.0	—	98.0	924
88期末(2021年6月17日)	3,777	30	0.4	11,936	2.5	—	99.3	899
89期末(2021年7月19日)	3,711	30	△ 1.0	11,588	△ 2.9	—	99.0	871
90期末(2021年8月17日)	3,642	30	△ 1.1	11,457	△ 1.1	—	99.2	831
91期末(2021年9月17日)	3,632	30	0.5	11,564	0.9	—	99.2	807
92期末(2021年10月18日)	3,647	30	1.2	11,805	2.1	—	99.0	798
93期末(2021年11月17日)	3,532	30	△ 2.3	11,579	△ 1.9	—	99.0	748
94期末(2021年12月17日)	3,349	30	△ 4.3	11,312	△ 2.3	—	98.9	687
95期末(2022年1月17日)	3,349	30	0.9	11,492	1.6	—	99.0	685
96期末(2022年2月17日)	3,400	30	2.4	11,794	2.6	—	99.1	691
97期末(2022年3月17日)	3,043	30	△ 9.6	10,981	△ 6.9	—	99.0	618
98期末(2022年4月18日)	3,141	30	4.2	11,651	6.1	—	99.0	640
99期末(2022年5月17日)	3,082	30	△ 0.9	11,131	△ 4.5	—	98.9	612
100期末(2022年6月17日)	3,117	30	2.1	11,413	2.5	—	99.1	613
101期末(2022年7月19日)	3,172	30	2.7	11,549	1.2	—	99.0	619
102期末(2022年8月17日)	3,183	30	1.3	11,800	2.2	—	99.0	621
103期末(2022年9月20日)	3,252	30	3.1	12,137	2.9	—	99.1	628
104期末(2022年10月17日)	3,219	30	△ 0.1	12,015	△ 1.0	—	99.0	621
105期末(2022年11月17日)	3,158	30	△ 1.0	11,941	△ 0.6	—	99.0	604
106期末(2022年12月19日)	3,055	30	△ 2.3	11,940	△ 0.0	—	98.3	580
107期末(2023年1月17日)	2,940	30	△ 2.8	11,845	△ 0.8	—	99.0	550
108期末(2023年2月17日)	2,978	30	2.3	12,108	2.2	—	99.0	548
109期末(2023年3月17日)	2,915	30	△ 1.1	11,996	△ 0.9	—	99.0	538
110期末(2023年4月17日)	2,966	30	2.8	12,565	4.7	—	99.2	547
111期末(2023年5月17日)	2,991	30	1.9	12,897	2.6	—	99.1	544
112期末(2023年6月19日)	3,066	30	3.5	13,592	5.4	—	98.6	555
113期末(2023年7月18日)	3,012	30	△ 0.8	13,574	△ 0.1	—	99.2	541

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

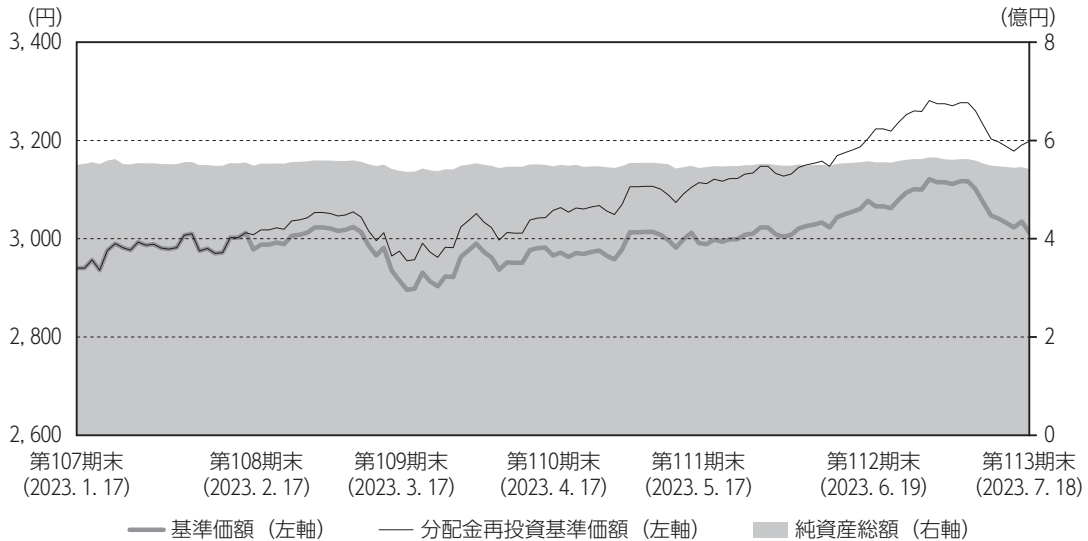
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第108期首：2,940円

第113期末：3,012円 (既払分配金180円)

騰落率：8.8% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入や通貨オプション取引によるプレミアム収入、投資対象通貨が対円でおおむね上昇 (円安) したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
		円	%		%	%	%
第108期	(期首) 2023年 1月17日	2,940	—	11,845	—	—	99.0
	1月末	2,989	1.7	12,072	1.9	—	99.0
	(期末) 2023年 2月17日	3,008	2.3	12,108	2.2	—	99.0
第109期	(期首) 2023年 2月17日	2,978	—	12,108	—	—	99.0
	2月末	3,008	1.0	12,204	0.8	—	98.7
	(期末) 2023年 3月17日	2,945	△ 1.1	11,996	△ 0.9	—	99.0
第110期	(期首) 2023年 3月17日	2,915	—	11,996	—	—	99.0
	3月末	2,976	2.1	12,395	3.3	—	98.8
	(期末) 2023年 4月17日	2,996	2.8	12,565	4.7	—	99.2
第111期	(期首) 2023年 4月17日	2,966	—	12,565	—	—	99.2
	4月末	2,978	0.4	12,562	△ 0.0	—	99.5
	(期末) 2023年 5月17日	3,021	1.9	12,897	2.6	—	99.1
第112期	(期首) 2023年 5月17日	2,991	—	12,897	—	—	99.1
	5月末	3,009	0.6	12,964	0.5	—	98.7
	(期末) 2023年 6月19日	3,096	3.5	13,592	5.4	—	98.6
第113期	(期首) 2023年 6月19日	3,066	—	13,592	—	—	98.6
	6月末	3,115	1.6	13,803	1.6	—	99.2
	(期末) 2023年 7月18日	3,042	△ 0.8	13,574	△ 0.1	—	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

（2023. 1. 18 ~ 2023. 7. 18）

## ■新興国債券市況

新興国債券市況は、国によってまちまちな展開となりました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域

ロシアでは、欧米などからの経済制裁を受けて国債の取引が困難な状況となる中、債券価格は当作成期首より上昇しました。ポーランドでは、インフレ率が低下したことなどから、金利は低下（債券価格は上昇）しました。南アフリカでは、国内の電力不足に対する懸念が高まったことなどを背景に、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

- ・ アジア地域

インドネシア、インド、フィリピンでは、利上げが実施されたことなどを背景に短期の金利は上昇しましたが、今後の利下げが意識されたことなどから、長期の金利は低下しました。

- ・ 中南米地域

ブラジル、ペルーでは、インフレ率が低下したことなどから、金利は低下しました。メキシコでは、利上げが実施されたことや米国金利が上昇したことなどを受けて、金利は上昇しました。

## ■為替相場

新興国為替相場は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の金融引き締め観測から米国金利が上昇する中、日米金利差の拡大により円安が進行したことなどから、多くの新興国通貨が対円で上昇しました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域

ポーランド・ズロチ、南アフリカ・ランドは、日米金利差の拡大により円安米ドル高が進行したことなどから、対円で上昇しました。ロシア・ルーブルは、ロシアの民間軍事会社ワグネルとロシア政府の間で緊張が高まり、政治的な不安定さが警戒されたことなどから、対円で下落しました。

- ・ アジア地域

インドネシア・ルピア、インド・ルピー、フィリピン・ペソは、日米金利差の拡大により円安米ドル高が進行したことなどから、対円で上昇しました。

- ・ 中南米地域

ブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルは、日米金利差の拡大により円安米ドル高が進行したことや、高金利通貨への選好が強まったことなどから、対円で上昇しました。

## ■為替ボラティリティ相場

新興国通貨の対円ボラティリティは、おおむね低下しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

### ■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利変動リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略（※）を構築し、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の獲得をめざします。

※新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプション（買う権利）を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.1.18～2023.7.18)

### ■当ファンド

当ファンドは、「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。

当作成期を通じて「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域においては、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチ、南アフリカ・ランド、アジア地域ではインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルに投資を行いました。
- ・ 債券ポートフォリオの金利変動リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。
- ・ 通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の獲得をめざしました。ただし、ロシア・ルーブルについては流動性の著しい低下から、オプション取引を行うことが困難であったため、通貨カバードコール戦略の構築は行いませんでした。

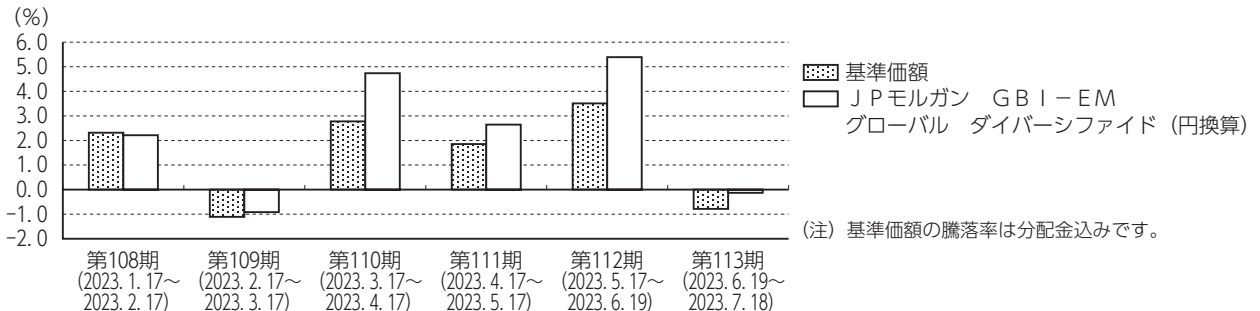
### ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
	2023年1月18日 ～2023年2月17日	2023年2月18日 ～2023年3月17日	2023年3月18日 ～2023年4月17日	2023年4月18日 ～2023年5月17日	2023年5月18日 ～2023年6月19日	2023年6月20日 ～2023年7月18日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	1.00	1.02	1.00	0.99	0.97	0.99
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	289	289	294	296	299	302

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 31.83円	✓ 30.39円	✓ 35.01円	✓ 31.76円	✓ 33.27円	✓ 32.50円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	48.04	48.97	49.90	50.88	51.84	52.95
(d) 分配準備積立金	239.47	240.38	239.84	243.87	244.69	246.86
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	319.35	319.75	324.76	326.53	329.80	332.32
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	289.35	289.75	294.76	296.53	299.80	302.32

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利変動リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の獲得をめざします。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第108期～第113期 (2023. 1. 18～2023. 7. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	18円	0.585%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,002円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0.163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.409)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.020	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(1)	(0.020)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	18	0.608	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

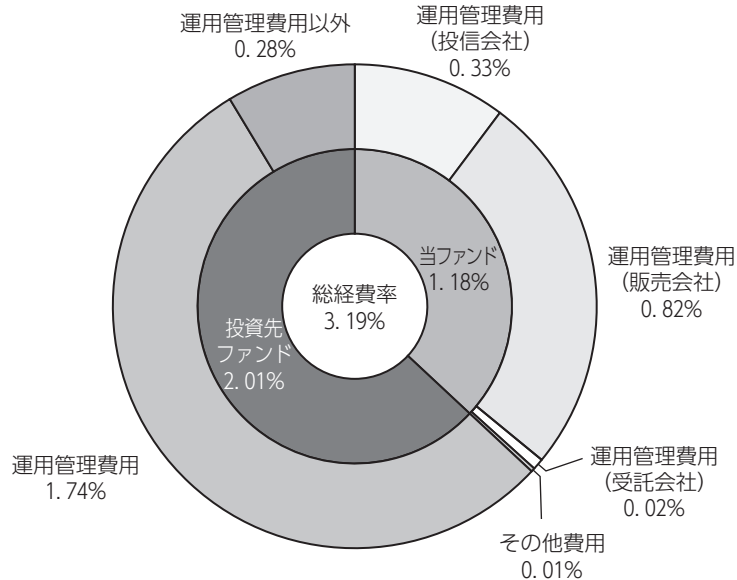
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.19%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.19%
①当ファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.74%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

### ■売買および取引の状況 投資信託受益証券

（2023年1月18日から2023年7月18日まで）

決算期	第 108 期 ～ 第 113 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,329.09071	37,803	2,022.69604	57,285

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

（2023年1月18日から2023年7月18日まで）

第 108 期				第 113 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS（ケイマン諸島）	2,022.69604	57,285	28

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 113 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	18,763.687	537,110	99.2

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 親投資信託残高

種 類	第107期末	第 113 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	96	96	97

（注）単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2023年7月18日現在

項 目	第 113 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	537,110	98.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	97	0.0
コール・ローン等、その他	11,098	2.0
投資信託財産総額	548,306	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。



■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年2月17日)、(2023年3月17日)、(2023年4月17日)、(2023年5月17日)、(2023年6月19日)、(2023年7月18日)現在

項目	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末
<b>(A) 資産</b>	<b>555,699,827円</b>	<b>544,435,728円</b>	<b>555,205,765円</b>	<b>550,236,448円</b>	<b>565,779,191円</b>	<b>548,306,635円</b>
コール・ローン等	12,388,639	11,587,395	12,371,221	11,052,730	11,304,934	11,098,282
投資信託受益証券 (評価額)	543,213,366	532,750,511	542,736,722	539,085,896	547,989,244	537,110,540
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	97,822	97,822	97,822	97,822	97,813	97,813
未収入金	—	—	—	—	6,387,200	—
<b>(B) 負債</b>	<b>6,913,188</b>	<b>6,051,497</b>	<b>7,991,296</b>	<b>6,006,615</b>	<b>10,279,883</b>	<b>6,820,706</b>
未払金	—	—	—	—	3,193,600	—
未払収益分配金	5,528,922	5,541,312	5,534,879	5,459,407	5,434,934	5,394,161
未払解約金	825,278	—	1,899,721	—	1,045,722	883,233
未払信託報酬	555,134	502,838	545,555	532,368	586,713	520,777
その他未払費用	3,854	7,347	11,141	14,840	18,914	22,535
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>548,786,639</b>	<b>538,384,231</b>	<b>547,214,469</b>	<b>544,229,833</b>	<b>555,499,308</b>	<b>541,485,929</b>
元本	1,842,974,275	1,847,104,212	1,844,959,728	1,819,802,549	1,811,644,927	1,798,053,817
次期繰越損益金	△ 1,294,187,636	△ 1,308,719,981	△ 1,297,745,259	△ 1,275,572,716	△ 1,256,145,619	△ 1,256,567,888
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,842,974,275口</b>	<b>1,847,104,212口</b>	<b>1,844,959,728口</b>	<b>1,819,802,549口</b>	<b>1,811,644,927口</b>	<b>1,798,053,817口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	<b>2,978円</b>	<b>2,915円</b>	<b>2,966円</b>	<b>2,991円</b>	<b>3,066円</b>	<b>3,012円</b>

\* 当作成期首における元本額は1,872,280,900円、当作成期間 (第108期～第113期) 中における追加設定元本額は44,019,420円、同解約元本額は118,246,503円です。

\* 第113期末の計算口数当りの純資産額は3,012円です。

\* 第113期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,256,567,888円です。

■損益の状況

第108期 自 2023年1月18日 至 2023年2月17日    第110期 自 2023年3月18日 至 2023年4月17日    第112期 自 2023年5月18日 至 2023年6月19日  
 第109期 自 2023年2月18日 至 2023年3月17日    第111期 自 2023年4月18日 至 2023年5月17日    第113期 自 2023年6月20日 至 2023年7月18日

項目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>6,130,359円</b>	<b>6,120,149円</b>	<b>6,696,547円</b>	<b>6,092,858円</b>	<b>6,213,399円</b>	<b>6,368,961円</b>
受取配当金	6,130,452	6,120,210	6,696,588	6,092,978	6,213,735	6,369,235
受取利息	—	2	—	—	—	1
支払利息	△ 93	△ 63	△ 41	△ 120	△ 336	△ 275
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>6,930,400</b>	<b>△ 11,704,948</b>	<b>8,842,754</b>	<b>4,379,042</b>	<b>13,521,114</b>	<b>△ 10,293,803</b>
売買益	7,060,687	1	8,856,847	4,385,994	13,529,895	22,099
売買損	△ 130,287	△ 11,704,949	△ 14,093	△ 6,952	△ 8,781	△ 10,315,902
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 558,988</b>	<b>△ 506,331</b>	<b>△ 549,349</b>	<b>△ 536,067</b>	<b>△ 590,787</b>	<b>△ 524,398</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>12,501,771</b>	<b>△ 6,091,130</b>	<b>14,989,952</b>	<b>9,935,833</b>	<b>19,143,726</b>	<b>△ 4,449,240</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 1,105,080,717</b>	<b>△ 1,096,327,188</b>	<b>△ 1,102,397,177</b>	<b>△ 1,073,704,306</b>	<b>△ 1,060,309,054</b>	<b>△ 1,034,144,813</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 196,079,768</b>	<b>△ 200,760,351</b>	<b>△ 204,803,155</b>	<b>△ 206,344,836</b>	<b>△ 209,545,357</b>	<b>△ 212,579,674</b>
(配当等相当額)	( 8,853,907)	( 9,045,734)	( 9,206,987)	( 9,260,923)	( 9,391,899)	( 9,522,426)
(売買損益相当額)	(△ 204,933,675)	(△ 209,806,085)	(△ 214,010,142)	(△ 215,605,759)	(△ 218,937,256)	(△ 222,102,100)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 1,288,658,714</b>	<b>△ 1,303,178,669</b>	<b>△ 1,292,210,380</b>	<b>△ 1,270,113,309</b>	<b>△ 1,250,710,685</b>	<b>△ 1,251,173,727</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>5,528,922</b>	<b>5,541,312</b>	<b>5,534,879</b>	<b>5,459,407</b>	<b>5,434,934</b>	<b>5,394,161</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,294,187,636	△ 1,308,719,981	△ 1,297,745,259	△ 1,275,572,716	△ 1,256,145,619	△ 1,256,567,888
追加信託差損益金	△ 196,079,768	△ 200,760,351	△ 204,803,155	△ 206,344,836	△ 209,545,357	△ 212,579,674
(配当等相当額)	( 8,853,907)	( 9,045,734)	( 9,206,987)	( 9,260,923)	( 9,391,899)	( 9,522,426)
(売買損益相当額)	(△ 204,933,675)	(△ 209,806,085)	(△ 214,010,142)	(△ 215,605,759)	(△ 218,937,256)	(△ 222,102,100)
分配準備積立金	44,473,836	44,474,223	45,175,896	44,702,283	44,921,889	44,837,679
繰越損益金	△ 1,142,581,704	△ 1,152,433,853	△ 1,138,118,000	△ 1,113,930,163	△ 1,091,522,151	△ 1,088,825,893

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,867,970円	5,613,818円	6,459,833円	5,780,973円	6,027,418円	5,844,561円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	8,853,907	9,045,734	9,206,987	9,260,923	9,391,899	9,522,426
(d) 分配準備積立金	44,134,788	44,401,717	44,250,942	44,380,717	44,329,405	44,387,279
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	58,856,665	59,061,269	59,917,762	59,422,613	59,748,722	59,754,266
(f) 分配金	5,528,922	5,541,312	5,534,879	5,459,407	5,434,934	5,394,161
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	53,327,743	53,519,957	54,382,883	53,963,206	54,313,788	54,360,105
(h) 受益権総口数	1,842,974,275口	1,847,104,212口	1,844,959,728口	1,819,802,549口	1,811,644,927口	1,798,053,817口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金(税込み)	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
		30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

エマージング・ボンド・ファンド  
(資産成長クラス/通貨αクラス)

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース/通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス/通貨αクラス）」を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

(米ドル建て)

貸借対照表  
2022年5月31日

**資産**

金融資産（損益通算後の評価額）	\$	6,871,135
現金および現金同等物		131,734
未収：		
利息		121,557
その他資産		607
資産合計		<u>7,125,033</u>

**負債**

金融負債（損益通算後の評価額）		31,354
未払：		
専門家報酬		19,190
受託会社報酬		10,000
管理会社報酬		7,719
保管会社報酬		4,597
報酬代行会社報酬		2,104
副投資運用会社報酬		1,775
登録料		1,081
名義書換代理人報酬		400
負債（換金可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）		<u>78,220</u>
換金可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$	<u>7,046,813</u>

包括利益計算書

2022年5月31日に終了した年度

収益

金融商品の損益通算後の評価額から生じる純損益

受取利息	\$ 494,732
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による実現損益	(1,221,976)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価損益の変動	(885,878)
外国為替取引による実現損益	(49,727)
外国為替取引による評価損益の変動	4,329
損失合計	<u>(1,658,520)</u>

費用

管理会社報酬	45,001
保管会社報酬	31,156
副投資運用会社報酬	27,402
専門家報酬	19,515
報酬代行会社報酬	16,129
受託会社報酬	10,000
名義書換代理人報酬	3,701
登録料	1,666
費用合計	<u>154,570</u>

金融費用控除前営業損失

(1,813,090)

金融費用

換金可能受益証券の保有者への分配金

(1,015,285)

金融費用控除後・税引前損失

(2,828,375)

源泉徴収税

(23,025)

運用の結果生じた換金可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額

\$ (2,851,400)

投資明細表  
2022年5月31日

債券	評価額
<b>ブラジル</b>	
NOTA DO TESO 10% 01/01/23/BRL/	\$ 301,866.54
NOTA DO TESO 10% 01/01/25/BRL/	624,632.59
<b>ブラジル計</b>	<b>926,499.13</b>
<b>インドネシア</b>	
INDONESIA 8.375% 09/15/26/IDR/	368,457.61
INDONESIA 5.625% 05/15/23/IDR/	487,453.26
<b>インドネシア計</b>	<b>855,910.87</b>
<b>メキシコ</b>	
MEX BONOS DES 8% 12/07/23/MXN/	549,626.14
MEX BONOS 7.75% 11/13/42/MXN/	91,553.13
MEX BONOS 6.75% 03/09/23/MXN/	214,605.18
<b>メキシコ計</b>	<b>855,784.45</b>
<b>ペルー</b>	
BONOS DE TE 5.2% 09/12/23/PEN/	814,969.05
BONOS DE T 6.35% 08/12/28/PEN/	64,844.28
<b>ペルー計</b>	<b>879,813.33</b>
<b>フィリピン</b>	
PHILIPPIN 4.625% 12/04/22/PHP/	482,003.95
PHILIPPIN 2.625% 08/12/25/PHP/	409,265.43
<b>フィリピン計</b>	<b>891,269.38</b>
<b>ポーランド</b>	
POLAND GOV 2.25% 10/25/24/PLN/	381,605.81
POLAND GOVE 2.5% 01/25/23/PLN/	388,948.52
<b>ポーランド計</b>	<b>770,554.33</b>
<b>ロシア</b>	
RUSSIA GOV 8.15% 02/03/27/RUB/	24,168.25
RUSSIA GOVT 4.5% 07/16/25/RUB/	15,761.90
RUSSIA GOVT 7.4% 12/07/22/RUB/	29,422.22
<b>ロシア計</b>	<b>69,352.37</b>

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド

債券	評価額
<b>南アフリカ</b>	
REPUBLIC O 10.5% 12/21/26/ZAR/	331,973.63
REPUBLIC O 7.75% 02/28/23/ZAR/	494,361.23
<b>南アフリカ計</b>	<b>826,334.86</b>
<b>国際機関</b>	
EUROPEAN BK R 5% 01/15/26/INR/	364,157.74
INTL FINANC 6.3% 11/25/24/INR/	431,458.24
<b>国際機関計</b>	<b>795,615.98</b>
<b>債券計</b>	<b>6,871,134.70</b>

通貨αクラス - 2022年5月31日現在の仕組スワップ取引の残高：(純資産の-0.8%)

戦略	満期日	取引相手	名目元本	評価額
FX Option Overlay	06/06/2022	Credit Suisse International	\$ 4,696,529	\$ (31,354)

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2023年7月18日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2023年1月18日～2023年7月18日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年7月18日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第18期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

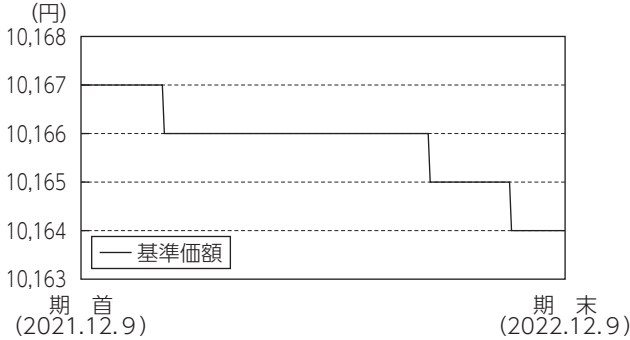
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>



■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
12月末	10,167	0.0	-
2022年1月末	10,167	0.0	-
2月末	10,166	△0.0	-
3月末	10,166	△0.0	-
4月末	10,166	△0.0	-
5月末	10,166	△0.0	-
6月末	10,166	△0.0	-
7月末	10,166	△0.0	-
8月末	10,165	△0.0	-
9月末	10,165	△0.0	-
10月末	10,164	△0.0	-
11月末	10,164	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,164	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,167円 期末：10,164円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	14,815,299	100.0
投資信託財産総額	14,815,299	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>14,815,299,248円</b>
コール・ローン等	14,815,299,248
<b>(B) 負債</b>	<b>113,000</b>
未払解約金	113,000
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>14,815,186,248</b>
元本	14,576,480,402
次期繰越損益金	238,705,846
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>14,576,480,402口</b>
<b>1万口当り基準価額(C/D)</b>	<b>10,164円</b>

\* 期首における元本額は6,671,046,264円、当作成期間中における追加設定元本額は21,845,860,602円、同解約元本額は13,940,426,464円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	3,627,565,740円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ/RICI <sup>SM</sup> コモディティ・ファンド	2,074,249円
スマート・ミックス・Dガード (為替ヘッジあり)	5,973,809円
スマート・アロケーション・Dガード	23,929,224円
堅実バランスファンド -ハジメの一歩-	236,205,446円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	5,509,329,948円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	595,238,099円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	309,917,358円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,031,730,013円
ダイワ米國株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米國株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米國株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米國株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト-	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり)	104,785,071円
ダイワ6資産バランス・ファンド (Dガード付/為替ヘッジあり)	112,805,921円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米國MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米國MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米國MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	982,368円
DCスマート・アロケーション・Dガード	8,073,994円

ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米國株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,164円です。

## ■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 3,985,061円</b>
受取利息	2,618
支払利息	△ 3,987,679
<b>(B) 当期損益金(A)</b>	<b>△ 3,985,061</b>
<b>(C) 前期繰越損益金</b>	<b>111,255,021</b>
<b>(D) 解約差損益金</b>	<b>△230,350,932</b>
<b>(E) 追加信託差損益金</b>	<b>361,786,818</b>
<b>(F) 合計(B+C+D+E)</b>	<b>238,705,846</b>
<b>次期繰越損益金(F)</b>	<b>238,705,846</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。